



2022年度（令和4年度） 事業計画

社会福祉法人育木会
薬園台・学びの保育園

1. 2022年度 事業計画

- ・ 理念をより具体化し、より進化し、より深化する
- ・ キャリアパスの実践化とJ職のキャリアパスの設計に挑戦し
また各意識調査の継続について検討する
- ・ 調査データを活用し、収益と離職者率に拘り、園と法人の連携の強化

2. 2022年度 事業計画-1

(1) 理念の共有浸透及び活動の可視化

- ・各園の理念保育の進化と深化を園長のミッションとして委任
- ・7つのプログラムの担当の明確化
- ・まなびのあそび体操の完成と実演を進める
- ・法人として可視化支援
- ・法人による7つのプログラムのPR化

(2) キャリアパスの理解浸透と実践を進める

- ・キャリアパスの理解を研修など利用し深めていく
- ・キャリアパスにそったミッションシートの作成やふりかえりの運営推進を園長と法人で連携を取り進める
- ・J職のキャリアパスの設計に挑戦する

3. 2022年度 事業計画-2

(3) MS職向け「獲得する能力」修得研修を推進する

- ・ 園長 & 主任 / マネジメント力、管理会計技術力、傾聴力、外部PR力
- ・ 副主任 & コア / 理念保育を進める人材育成力、傾聴力、内部発信と外部PR力
- ・ 専門 & 専門コア / 理念保育の推進力、質の高い保育の推進、傾聴力、内部発信力

(4) 学びの保育園らしい人材育成

- ・ 保育所保育指針に沿った保育に関わる専門スキルの向上
- ・ 理念をど真ん中において、「子どもが主体的に考え、想像し、創造する」ための保育を絶えず現場で検証し、実践を繰り返す
- ・ 理念保育の実行を通しての成長

(5) ローキャリア（新卒3年）及び既卒4年以上新入職者研修の強化

- ・ 理念の理解
- ・ 仕事への心得やマナーの獲得
- ・ 保育の仕事に対する求められる役割行動を明確化する

4. 2022年度 事業計画-3

(6) 最大最適な予算計画と収益確保

- ・ 園長と主任を中心に管理会計の理解の促進
- ・ 質の高い保育への投資を継続するために、全職員が収支の確保の意識を高める
- ・ 収支確保のための施策の具体化と月次会計の管理

(7) その他

- ・ 「聴き合える、言い合える」組織作り
- ・ 傾聴力の獲得
- ・ 自分も他者も認めるスタンス
- ・ 各調査の継続の検討と活用

(1) ～ (7) について各担当を決め、タスク表を作成し推進していく

5. 2022年度 事業計画

2021年度事業計画で発表したこと

8期経営計画は7期経営計画を受け継ぎ、創立10年に繋がるテーマであると考えます。子ども、スタッフ、保護者、地域社会、法人が、さらに学び、成長できるための8期となり、9期には完了するよう進めていきたいと思います。

2022年度事業計画は

8期はみなさんのおかげで、学びの保育園の理念推進はかなり進んだかと感じています。コロナ禍で保育はとても大変な状態ですが、9期も、子ども、スタッフ、保護者、地域社会、園&法人の5者が、さらに学び成長し、ハッピーな年になるようよろしくお願いします。

6. 職員意識調査の結果に対して

※2022年2月下旬～3月上旬にかけて実施 結果から見えてきた5つのキーワード

1. 報酬について

- ▶ 学びの保育園の報酬に対する哲学
- ▶ 報酬は原資の分配

2. 土日7日間の研修やイベント出勤について

- ▶ 年間休日120日
- ▶ 年間7日の検討

3. 法人研修と園内研修

- ▶ 法人研修は組織的課題への対応
- ▶ 園内研修は技術的課題への対応

4. 他園交流

- ▶ 法人研修にての交流促進
- ▶ コロナ感染環境の様子をみて交換留学の再開

5. 園内の人間関係

- ▶ ポジティブストローク
- ▶ 自分も他者も認める
- ▶ ピグマリオン効果

7. 保育方針

子どもの未来は、日本の未来であり、保育園は地域社会を元気にする基地であり、地域社会の子育て力を高めることは地域社会を豊かにすることに繋がると考えています。

保育方針（4原則）

1. 子どもが1日怪我なく、健やかに活動できる安全を最重視した園
2. 体験学習をベースに、下記のような人間力（=心）を育む教育も兼ね備えた園
『自ら考え動くことができる子ども』
『周囲に感謝の気持ちを抱き、周囲と共に活動できる子ども』
『自らに起こった出来事を、素直に受け止め、前向きに解決しようとする子ども』
『体験や出来事から学び、振り返り、前向きに成長していく子ども』
3. 子どもだけではなく、保育者や保護者も豊かな気持ちを育むために一緒に学び合う園
4. 社会（地域の大人や老人など）や自然環境とも深く関わり、共に学ぶことができる園

8. 保育理念と保育目標

【保育理念】 ※6園共通

こどもの『心の足腰』を育み、ひとりひとりが生き生きと輝く社会を実現する

【保育目標】

- ①進んであいさつができる子ども
- ②自分の思いや意見を相手に伝え、相手の話を聴くことができる子ども
- ③色々なことに自ら挑戦する子ども

【7つの学びプログラム】

- ① ニコニコ毎日挨拶活動
- ② 運動神経バツグン学び体操
- ③ 生き物育てるいきものがかり
- ④ 地域と社会交流1・2・3
- ⑤ 菜園と収穫と食育
- ⑥ 新しいことに挑戦し体験する「夢くらぶ」
- ⑦ 伝える、聴く、プチ発表会

9. 事業計画（各園）③ 薬園台

【薬園台・学びの保育園】

「 子ども・保護者・職員の思いを共有し、互いに育ち合える保育園 」

ボードフォリオ・ドキュメンテーションを作成することでその日の振り返りがしやすく、文章で表現できない部分を写真の表情で伝えることができる。保育者の思いと一緒に伝えることで、保護者も自然に子どもを理解し、子どもの観方を楽しめるようになる。これこそが、互いに育ちあえることだと考える。少し高度な感覚が求められるが、保育者が決めた活動ではなく、子どもの様子に合わせて柔軟に保育を構成し発展していける力をつけていける1年にする。常に肯定的に子どもの思いを捉え発信していくことで、保護者の態度に変化をもたらし、ありのままの自分を認めてもらえる子どもが増えていく。これこそが子どもたちの自己肯定感に繋がる。ありのままの自分を受け入れた子どもはたくさんの挑戦を繰り返し、生き生きと自信に満ち溢れた姿となる。その実現の為に、一人一人の思いに気づき、小さな発見を大きな喜びへと繋げていける保育をみんなで学びあえる園内研を実施していく。

地域活動を通して（コロナ状況次第だが）地域に根付いた保育園を目指し、保育園への理解を得られるよう、夢くらぶだけではない自園の環境で遊べる活動も考えていく。

年間研修計画予定（薬園台・学びの保育園）

	計 画
4月	「経験の道筋」確認
5月	アクションカード研修①
6月	音楽遊び研修
7月	アクションカード研修②（AED）
8月	
9月	法人研修
10月	不審者訓練
11月	嘔吐処理研修
12月	保育についての研修 「テーマ： 」
1月	法人研修
2月	研修報告会
3月	研修報告会

10. 年間研修計画予定（法人）

【園内研修】 ※前述参照

【階層別研修】

- ・新人研修（新卒、既卒新入職者）
- ・ミドル層
- ・給食室

【キャリアパス研修】

- ・役職別を実施（園長/主任/副主任/専門リーダー/コアリーダー/専門コアリーダー）

【法人全体研修（9月）】

- ・観劇研修 劇団四季「アラジン」「アナと雪の女王」

【メンター/メンティー研修（年間通し月1回程度）】

【法人全体研修（1月）】

- ・スキル研修（内容未定）

【新入職者研修（2月）】 ・2023年4月入職者向け研修